

第 13 期 pES club step2 大会課題

平成 26 年 10 月 12 日

東京北医療センター 総合診療科

南郷 栄秀

<http://spell.umin.jp>

目標：種々の二次資料を使いこなし、日常業務の中で生じた疑問を解決するのに必要な情報を検索できるようになる。

課題：step1 大会で取り上げた問題や疑問に対して、step1 大会で行った検索をさらに進める。二次資料を含むあらゆる情報源を駆使して、問題や疑問を解決するのに最適と思われる原著論文を 1 つ見つけ、以下の 3 点を Microsoft word 文書にまとめて、9 月 28 日（日）までに南郷に個人メールで送ること。その際、ファイル名は“13pES_step2_nango”の様にすること（名前は自分自身のものに変えること。ファイル名の間違が多いので、注意のこと！）。

- 1) 自分の取り上げた問題や疑問の PICO とそのカテゴリー、さらに Step1 大会で PubMed 検索によって最終的に選んだ論文の書誌情報と PMID を示せ（これは step1 大会での課題である。検索過程を示す必要はない）。
- 2) 自分の取り上げた問題や疑問の PICO について、二次資料を検索する。その際、どのようにして検索を進めたか、その道筋を記せ（他の人が追試できるように示すこと。検索実施日も忘れずに）。二次資料の検索結果は、記載の該当個所を抜き出し、逐語訳して記述すること。さらに、その部分で引用されている文献から、自分の PICO を解決するために最適なものを選び。
- 3) 全ての二次資料から最終的に選んだ 1 本の原著論文の書誌情報（著者名、題名、雑誌名）と PMID を示せ。

注意)

※情報検索に用いる情報源については、The SPELL HP (<http://spell.umin.jp>) を参照のこと。このうち、UpToDate, DynaMed, Cochrane Library, 国内外のガイドラインは必ず検索すること。

※課題の作成にあたっては、課題見本を参考にすること。

※原著論文は、自分の取り上げた問題や疑問のカテゴリーに対応するもの（例えば治療・予防なら RCT や SR）を選ぶこと。また、最終的に論文を選ぶ際には、全文を読まず、要約 (Abstract, Summary) のみを読んで判断すること。

※以上の作業にあたっては、家ごとの ML を使用してメンバーに相談しながら、より良い方法を見つけて進めること（監督生の役割が重要である）。

※提出した課題を元に南郷がチェックし、修正を指示する。何度かのやりとりの後に完成した課題は 10 月 10 日（金）までに南郷が pdf ファイルにまとめ、Google site に up する。

※例会当日は、論文を決めるまでの過程について、5 分間でプレゼンテーションする。その後、10 分間のディスカッションを行う。配付資料は 20 部印刷してくること。

※当日のプレゼンテーションに対しては、学生・講師とも、検索の手順、プレゼンテーションの質（時間配分を含む）について、優(3)・良(2)・可(1)・不可(0)の 4 段階で評価し、以下の式に従って step2 大会の得点とする。

得点 = 学生の点数の平均 × 5 + 講師の点数の平均 × 10 + 追加ポイント

※どうしても原著論文が見つからない場合は、早めに南郷に相談すること。